

産業廃棄物処理計画書

2025年 6 月 13 日

三重県知事 殿

提出者

住所 神奈川県横浜市西区みなとみらい六丁目1番

氏名 富士フィルムビジネスイノベーション株式会社
デバイステクノロジー事業本部

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 045-755-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量
その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

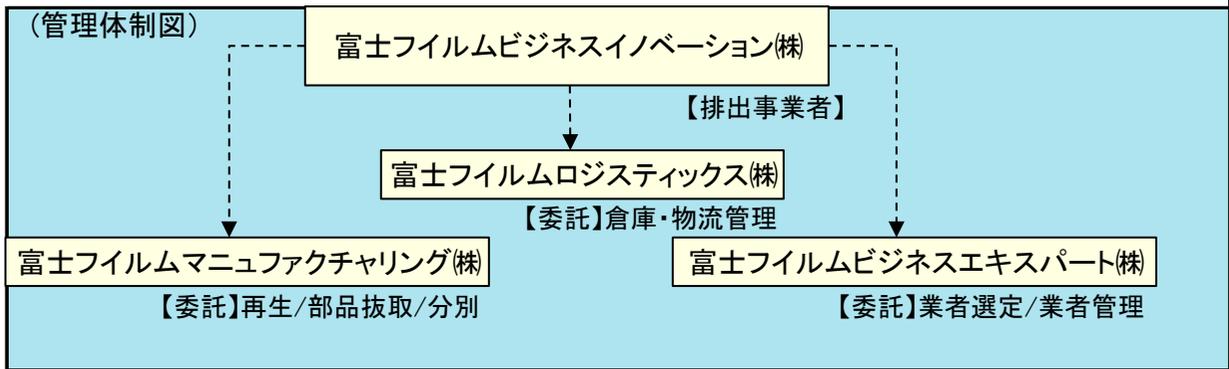
事業場の名称	富士フィルムビジネスイノベーション(株)鈴鹿U機中央倉庫
事業場の所在地	三重県鈴鹿市伊船町字北上ノ割2002-7
計画期間	2025年4月1日 ~ 2026年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	H47 運輸業、郵便業/ 倉庫業
② 事業の規模	当該事業所から製造品の出荷はなし
③ 従業員数	14名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	全国のお客様から回収した使用済み事務機のうち、再生できそうな製品を当該事業所に集め、再生可否を判断する。再生可能な事務機は弊社の別事業所へ送り再生処理を行う。再生不可なものは、産業廃棄物処分業者にて中間処理(破碎・選別)を委託する(マテリアルリサイクル)。中間処理工程で発生した一部廃プラスチック類やトナーカートリッジ類は、2次中間処理業者でサーマルリサイクルを行う。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	排出量	
	(これまでに実施した取組) 上記④のとおり、再生対象の使用済み事務機は別の事業所でリユース部品を抜き取り再生処理している。また解体により発生したプラスチック及び金属は、有価売却することで廃棄物量を抑制している。当該事業所で再生対象から除外された事務機は産業廃棄物として処理を委託し、処理業者がマテリアルリサイクル及びサーマルリサイクルを徹底していることを確認している。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組) 今後も現状の取り組みを継続する。加えて、マテリアルリサイクル率を向上させるべく、処理委託業者の見直し及び委託先への指導や教育を実施する。また、使用済み事務機器の有価物化を促進し、廃棄物排出の抑制を強化する。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 使用済み事務機はリユース部品を抜き取り金属くず/廃プラスチック類に分別し、スペアパーツは金属くず/廃プラスチック類に分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も現状の取り組みを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまで実施した取組)	
当該事業所では廃棄物の再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
同上		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまで実施した取組)		
自ら廃棄物の中間処理は行っていない。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		
同上		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまで実施した取組)	
自ら廃棄物の埋め立て処分または海洋投棄処分は行っていない。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
同上		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまで実施した取組)	
委託業者は法令順守、処理プロセス、処理能力、セキュリティ、コストなどを評価し、社内委託基準をクリアした業者を選定し契約している。		

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(今後実施する予定の取組) 今後も現状の取り組みを継続する。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7 欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います
 } 記入不要です

項目			廃棄物の種類																				合計量 (t)		
			ア 燃え殻	イ 汚泥	ウ 廃油	エ 廃酸	オ 廃アルカリ	カ 廃プラスチック	キ ゴムくず	ク 金属くず	ケ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コ 鉱さい	サ がれき類	シ ばいじん	ス 紙くず	セ 木くず	ソ 繊維くず	タ 動植物性残さ	チ 家畜のふん尿	ツ 家畜の死体	テ 動物系固形不要物	ト 13号廃棄物		ナ 建設混合廃棄物	
現状/計画																									
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績						1065		1825	152													3042	
		今年度目標						958		1643	137													2738	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																						0	
		今年度目標																						0	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																						0	
		今年度目標																						0	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績																							0
		今年度目標																							0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に 関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																						0	
		今年度目標																						0	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績						1065		1825	152													3042	
		今年度目標						958		1643	137													2738	
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績						666		1143	95													1904	
		今年度目標						600		1028	85													1713	
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績						1065		1825	152													3042	
		今年度目標						958		1643	137													2738	
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																						0	
		今年度目標																						0	
	⑩のうち認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																						0	
		今年度目標																						0	

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第2号の9)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。記入しても差し支えありませんが、その際は、様式第2号の9 別紙2の報告数値と一致していることを確認してください。

(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第2号の9 別紙2の項目番号です。